



2014年12月期

第2四半期決算説明会

2014年8月12日

SBSホールディングス株式会社



も く じ

- 2014年12月期
第2四半期決算概要
及び通期見通しについて
- 2014年度グループ経営について



2014年12月期 第2四半期決算概要 及び通期見通しについて

SBSホールディングス株式会社
財務・経理担当執行役員 山下 泰博

第2四半期 連結業績(前期比較)

2

(単位:百万円)

	13年12月期 第2四半期		14年12月期 第2四半期			
	実績値	構成比	実績値	構成比	増減額	増減率
売上高	61,805	100%	65,777	100%	3,971	6.4%
営業利益	703	1.1%	1,480	2.3%	776	110.3%
経常利益	534	0.9%	1,373	2.1%	838	157.0%
四半期 純利益	149	0.2%	1,761	2.7%	1,611	10倍超

第2四半期 連結業績(計画比較)

3

(単位:百万円)

	14年12月期 第2四半期		14年12月期 第2四半期			
	計画値	構成比	実績値	構成比	増減額	増減率
売上高	63,000	100%	65,777	100%	2,777	4.4%
営業利益	1,100	1.7%	1,480	2.3%	380	34.5%
経常利益	900	1.4%	1,373	2.1%	473	52.6%
四半期 純利益	500	0.8%	1,761	2.7%	1,261	252.2%

■ 2014年12月期第2四半期実績

(単位:百万円)

	物 流	不動産	その他	消去等	合 計
売上高	61,237	1,195	3,344	—	65,777
前期比	5.9%	△11.1%	25.7%	—	6.4%
営業利益	605	612	171	91	1,480
前期比	—	△11.9%	440.1%	—	110.3%
営業利益率	1.0%	51.2%	5.1%	—	2.3%

参考:2013年12月期第2四半期実績

	物 流	不動産	その他	消去等	合 計
売上高	57,801	1,344	2,659	—	61,805
前期比	△1.3%	12.0%	△13.3%	—	△1.7%
営業利益	△77	694	31	54	703
前期比	—	16.9%	29.2%	—	△47.2%
営業利益率	—	51.6%	1.2%	—	1.1%

S 連結貸借対照表の推移

2013年期末



総資産 1,083

自己資本比率 26.7%

単位:億円

2014年2Q末



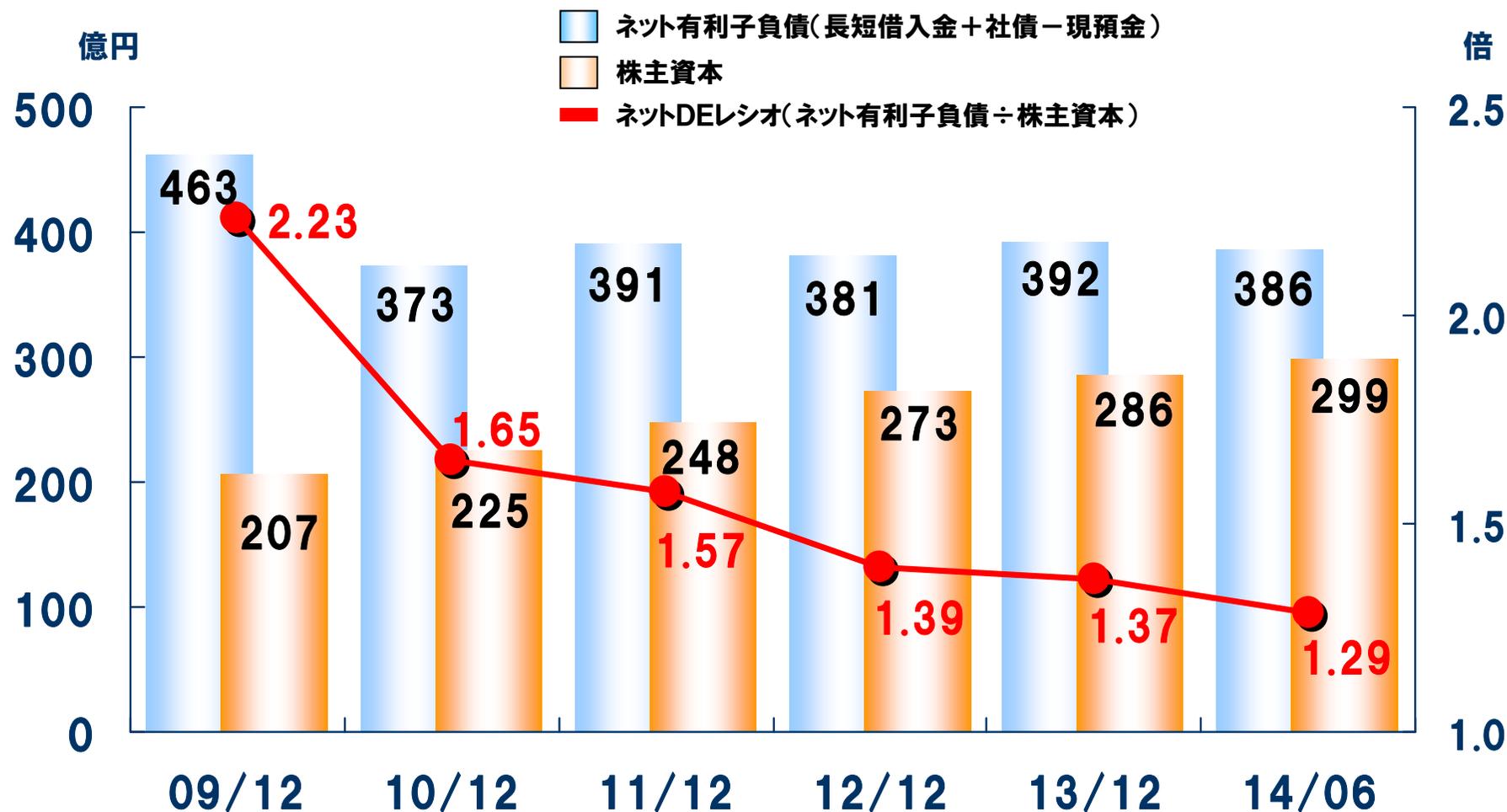
総資産 1,083

自己資本比率 28.1%

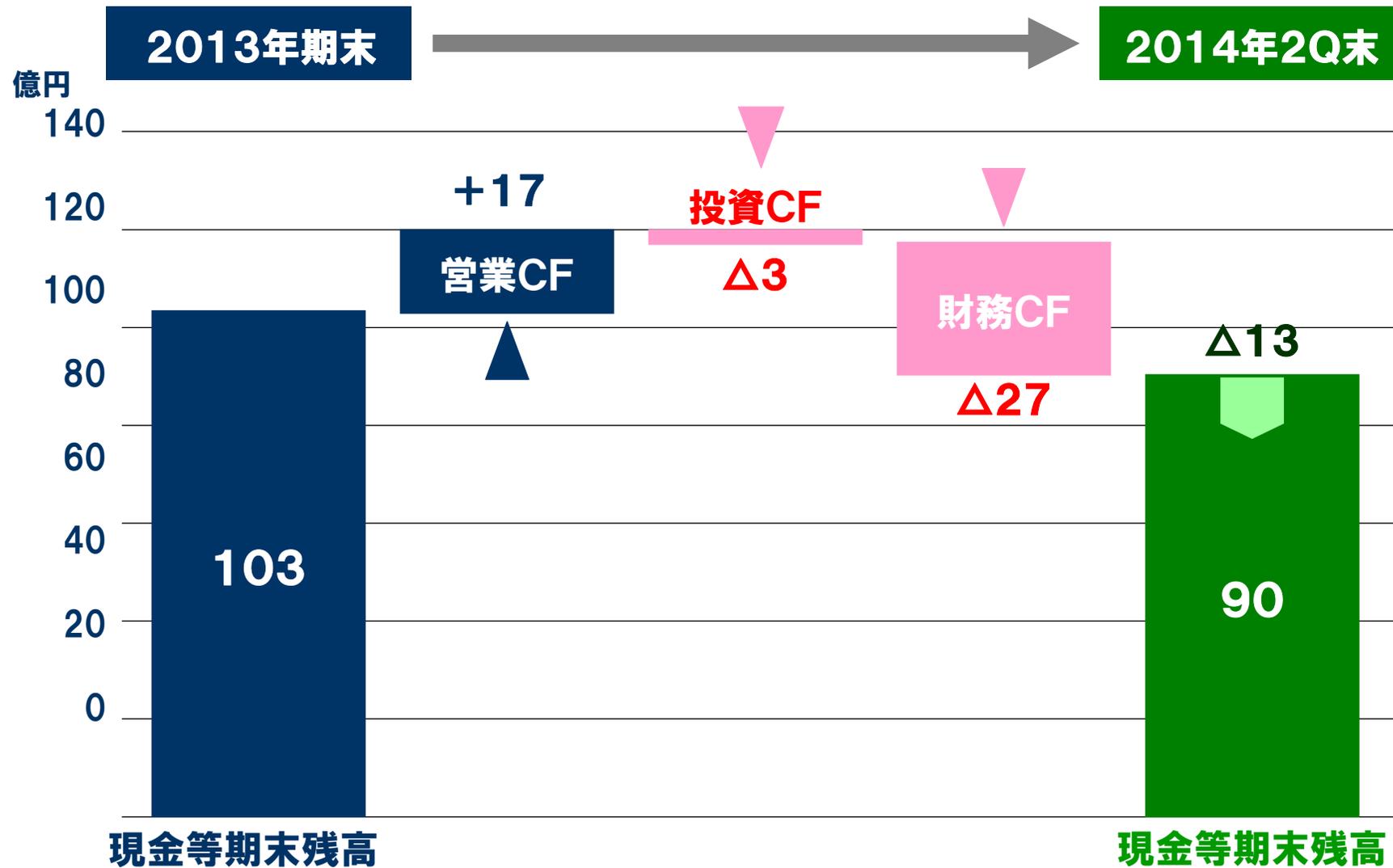
±0

自己資本比率は
1.4ポイント上昇

■有利子負債幅の管理と株主資本充実



連結キャッシュ・フローの概要



14年12月期 連結業績予想

8

(単位:百万円)

	13年12月期		14年12月期			
	実績値	構成比	予想値	構成比	増減額	前期比
売上高	132,205	100%	137,000	100%	4,795	3.6%
営業利益	4,141	3.1%	4,800	3.5%	659	15.9%
経常利益	3,801	2.9%	4,400	3.2%	599	15.8%
当期純利益	1,571	1.2%	3,500	2.6%	1,929	122.8%

※予想値は、2014年7月30日に修正したものです。

14年12月期 セグメント別業績予想

9

■ 2014年12月期予想

(単位:百万円)

	物 流	不動産	その他	消去等	合 計
売上高	125,000	5,300	6,700	—	137,000
前期比	3.5%	△4.6%	14.2%	—	3.6%
営業利益	2,050	2,400	350	0	4,800
前期比	68.2%	△5.9%	73.3%	—	15.9%
営業利益率	1.6%	45.3%	5.2%	—	3.5%

※予想値は、2014年7月30日に修正したものです。

参考:2013年12月期実績

	物 流	不動産	その他	消去等	合 計
売上高	120,786	5,554	5,865	—	132,205
前期比	1.2%	121.8%	△3.9%	—	3.3%
営業利益	1,219	2,550	202	169	4,141
前期比	△29.5%	111.3%	351.0%	—	42.7%
営業利益率	1.0%	45.9%	3.4%	—	3.1%



2014年度 グループ経営について

SBSホールディングス株式会社
代表取締役社長 鎌田 正彦

■ 物流事業

- 増税前特需、増税後の反動減は限定的
- 3PL事業⇒新規業務、新規受注
- 海外事業⇒インド・Transpole社をM & A



高島屋様向け物流センター出荷風景

■ 不動産事業

- タイで倉庫竣工(1号棟6月、2号棟8月)
- 横浜・杉田の建設工事発注
- 私募ファンド1号へ残り49%譲渡(8月)



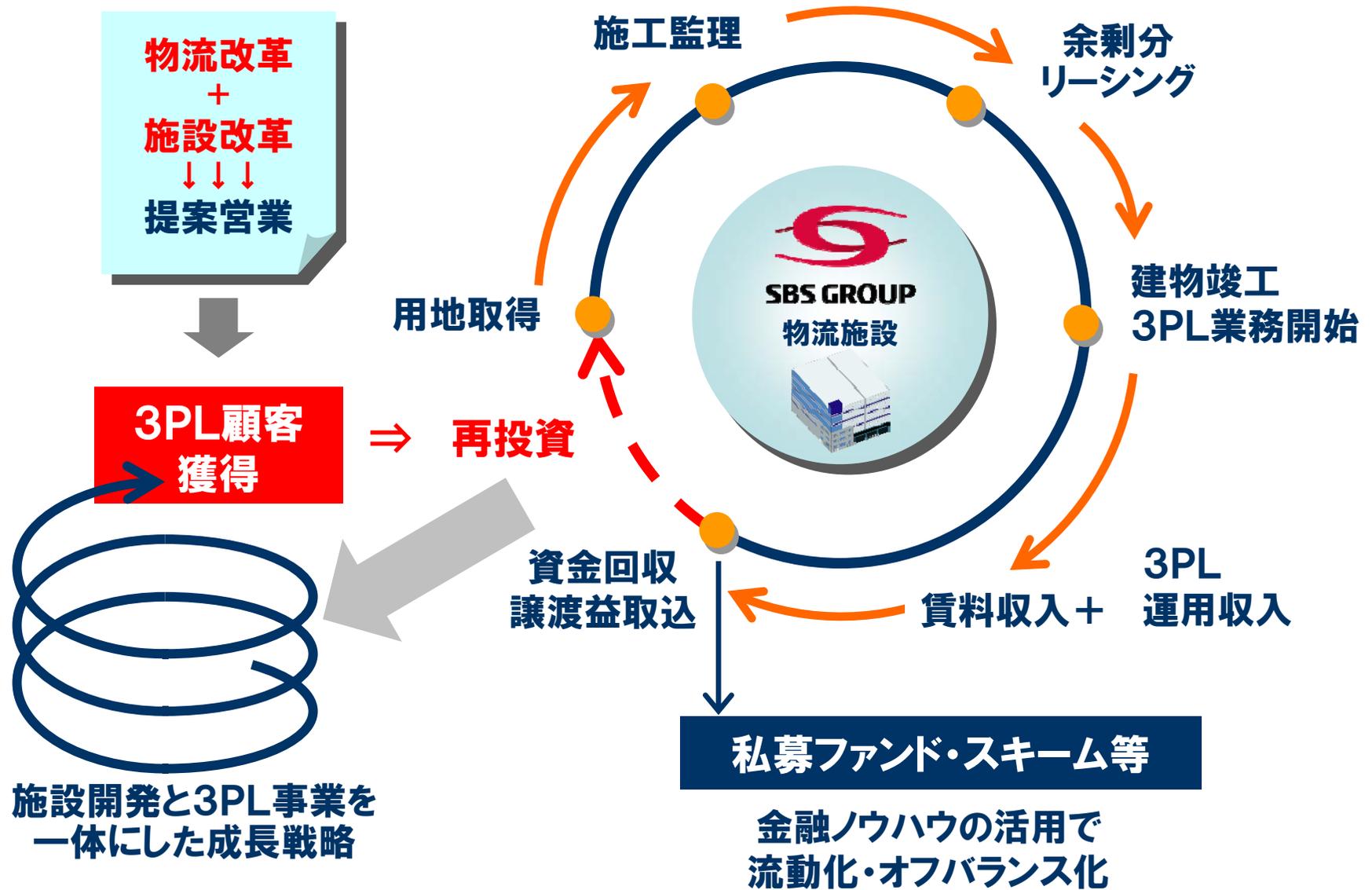
建設が進む横浜・長津田物流センター

■ その他事業

- 人材事業が堅調に推移
- 太陽光発電事業、第2次工事に着手



芝山太陽光発電所の第2次工事場所



■ 上期実績

- 大手食肉加工様(専用センター開設、関東圏をカバー)
- 関西大手百貨店グループ様(食品宅配物流センター運営)
- 関東大手百貨店様(食品通信販売向けセンター運営)

■ 受注実績

- 眼鏡レンズメーカー(眼鏡レンズ共同センター化を促進)
- ドラッグストア(140店舗対応物流センター運営、関西)
- 大手スーパー(1万坪規模の物流センター運営)

(単位:億円)

3PL事業	2012年度	2013年度	2014年度 計画
売上高	443	461	480
前期比	+4.7%	+4.1%	+4.1%

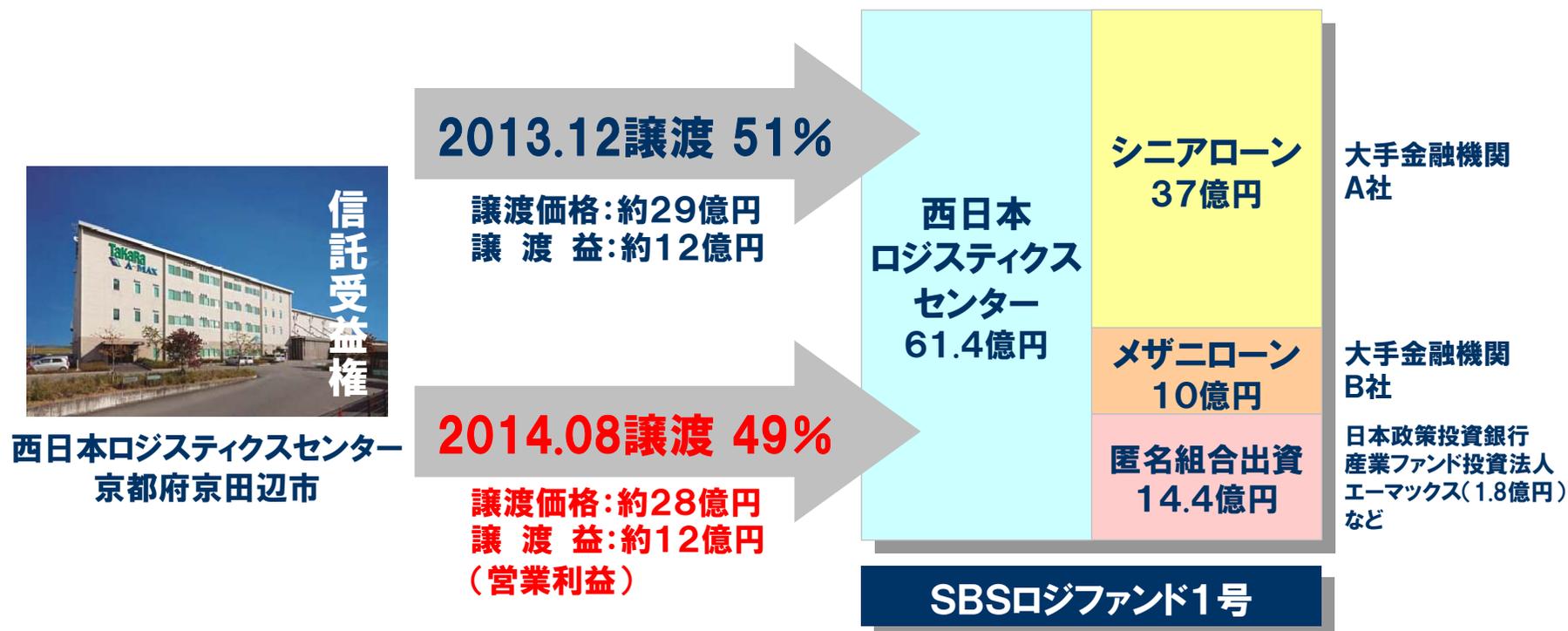
■ 5年間で国内外に総投資額500億円を計画



横浜・杉田物流センター
完成予想図



■ SBSロジファンド1号への譲渡が完了



■ SBSロジファンド2号は、来期組成の見通し

■タイに海外初の自社物流センターが竣工

■アジアを攻めるパートナーを得る

Transpole Logistics
2014年7月M&A

Atlas Logistics
2011年11月M&A

アジア地域統括会社の整備
2014年1月

※ S マークは、SBSグループ現地法人の所在国または所在都市です。

1号棟:2014年6月竣工

3000坪、日系企業入居

※2号棟は2014年8月竣工予定

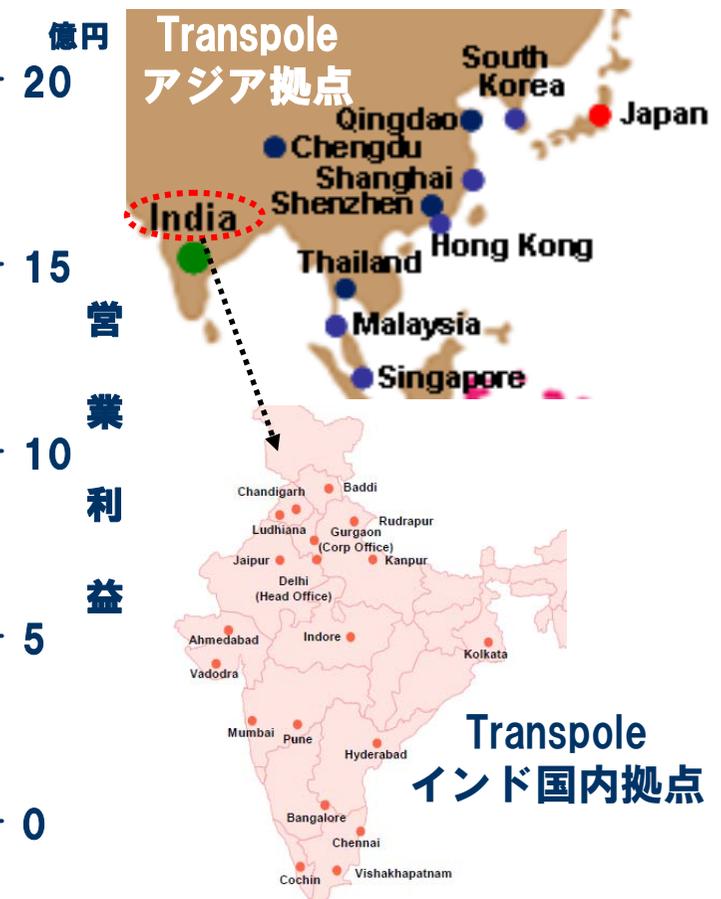
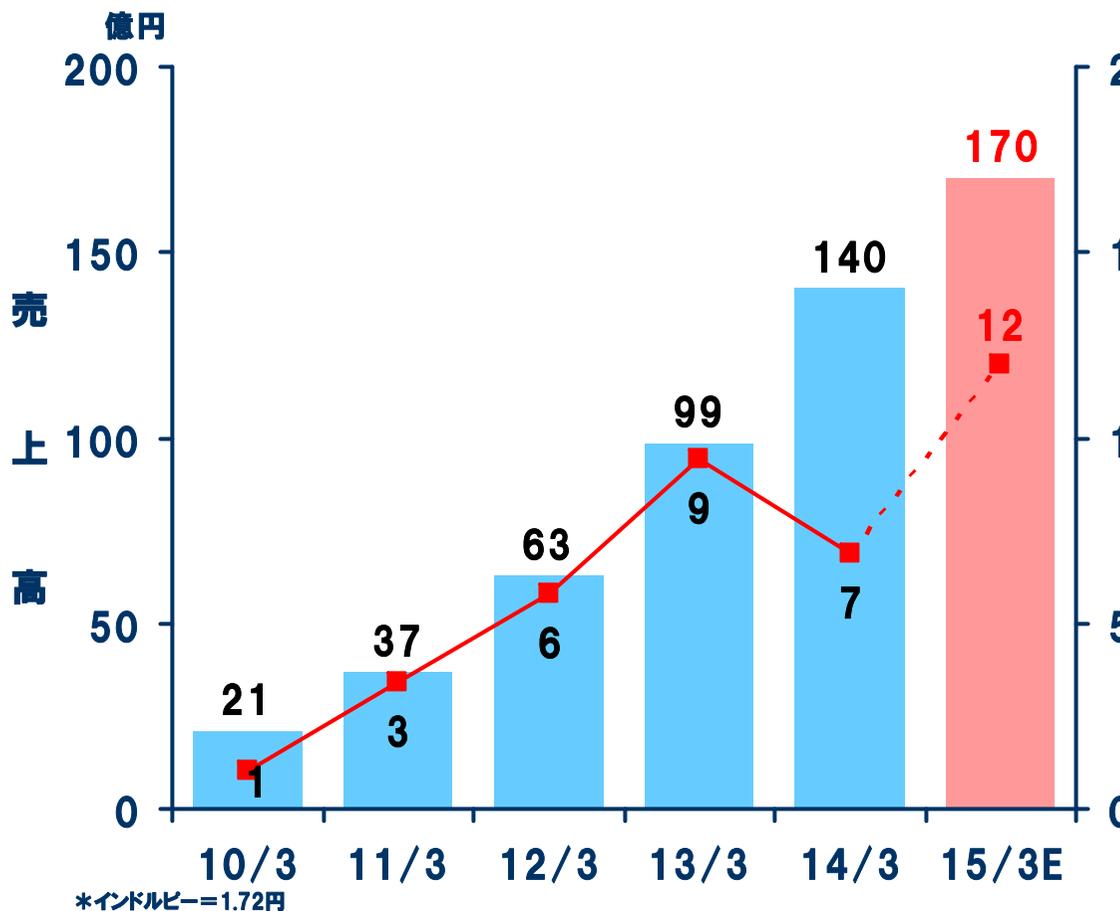
シンガポールでドレージ輸送を開始!
現地企業 GIM GUAN FREIGHT PTE. LTD.
2014年1月M&A



Transpole10周年 & SBSジョイントミーティング(8月4日インド・ニューデリー)

- 社 名:Transpole Logistics Pvt. Ltd.
- 設 立:2004年8月 ■本 社:インド・ニューデリー
- C E O:Anant Jumar Choudhary
- 株 主:SBS66%、創業者グループ28%、社員持株会6%
- 拠点数:インド国内18都市、香港・シンガポール・韓国はじめ世界11か国
- 事 業:航空フォワーディング54%、海上フォワーディング42%、その他4%
- 主顧客:サムソン(電機)、マイクロマックス(通信)、ホンダ・トヨタ(自動車)
- 従業員:744名(2014/3末)

- 急成長⇒08年～13年の平均成長率60%以上
- 売上はインド60%、アジア40%(急拡大中)



■ トップマネジメント

- DHL出身の36歳、創業10年で100億円企業に
- 2011年にフィデリティ、2013年にエバーストーンが出資



Mr. Anant , CEO

■ 市場開拓力

- 設立～ ⇒インド国内
- 2008年～ ⇒ASEAN、東アジア
- 2013年～ ⇒南米



■ 顧客資産

- グローバル企業
 - マイクロマックス、サムスン、LG、ウィプロ、HCL...
- 日系企業
 - トヨタ、ホンダ、パナソニック、ダイキン、カシオ、東芝...

■ 海外市場開拓のパートナー

- 市場開拓の先鋒役として強力な営業力に期待
- ASEAN、東アジアでの拠点の有効活用と再編
- インド市場で同社のIPOをめざす



■ 優良顧客を日本品質で開拓

- 物流施設(建設から運用まで)の提供
- ロジスティクス(3PL)の提供

■ Atlas Logistics との連携



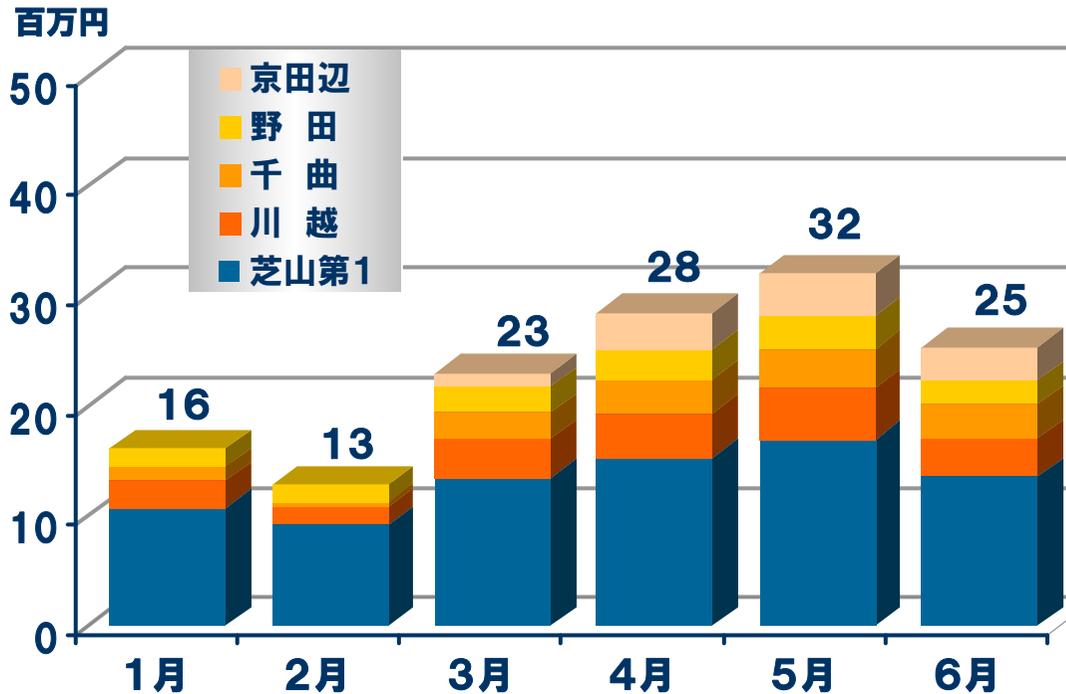
インド企業フォワードで売上高トップレベル

- Transpoleのリードで経営改革と効率化推進



Transpoleミーティングで挨拶する
Atlasラオ会長(8月4日ニューデリー)

2014年上期の売電状況



発電能力: 5.3メガワット
 売電金額: 約140百万円



野田吉春(屋根活用)



芝山第1(保有地活用)

今後の投資予定

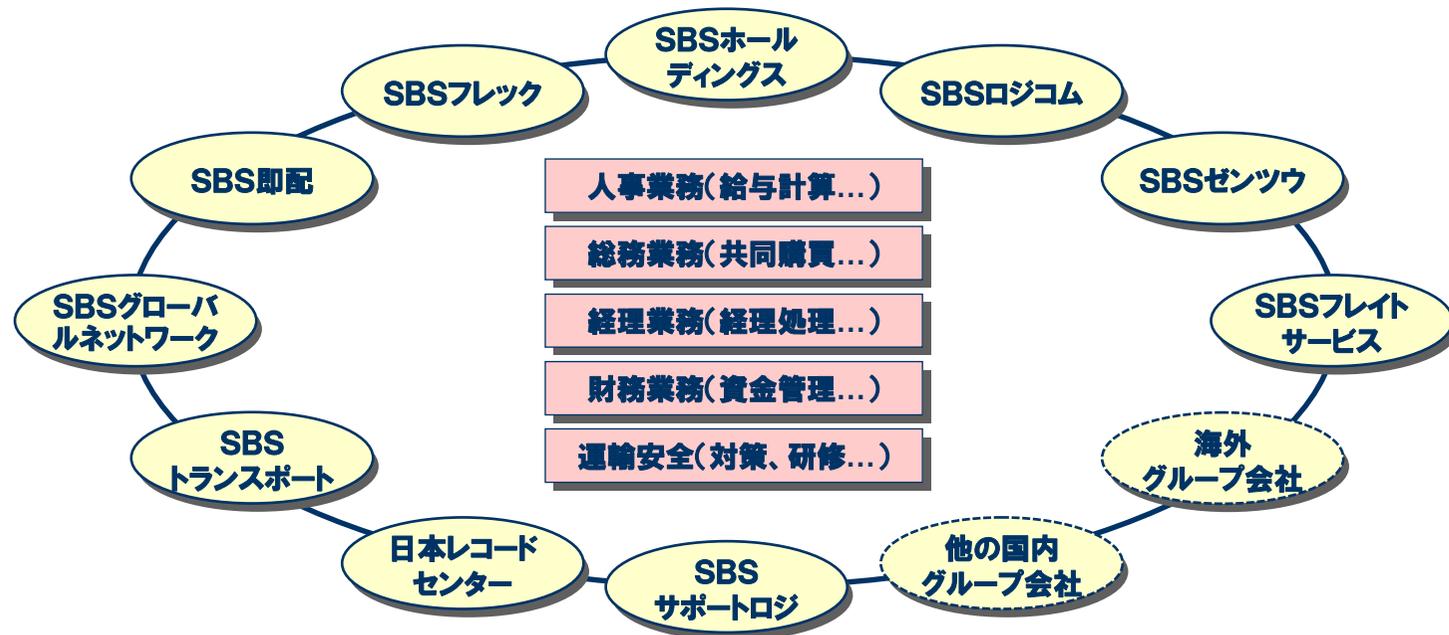
- 下期: 芝山第2ほか6か所(2.1メガワット増)
- 来期: 長津田センター (1.0メガワット増)



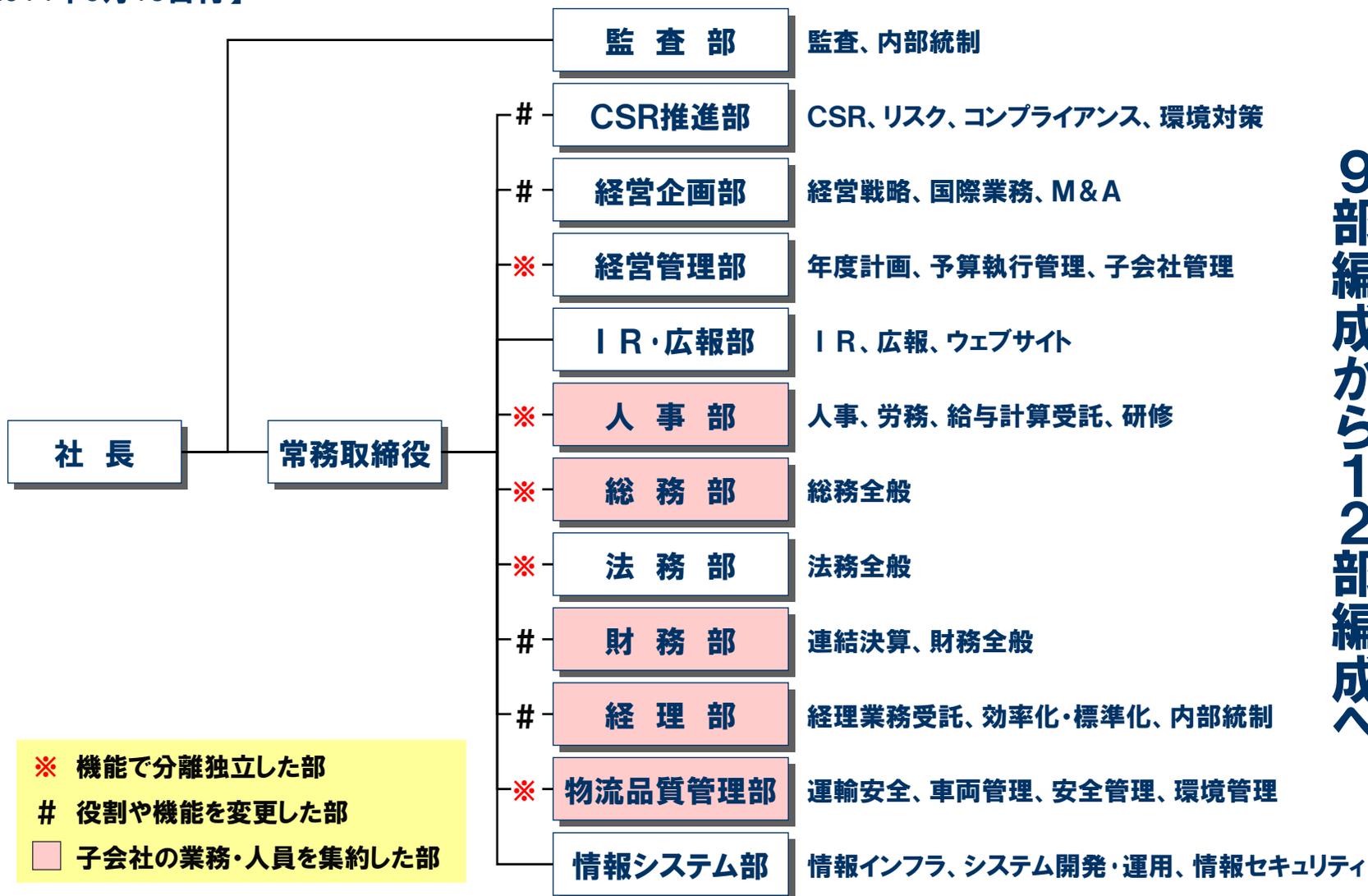
工事中の芝山第2

■ 主要2社の管理業務・人員の一部を集約

- SBSロジコム、SBSフレックの人事、総務、経理、運輸安全等の業務および人員をホールディングスに集約
- グループの間接業務の効率化、標準化、シェアード化を推進

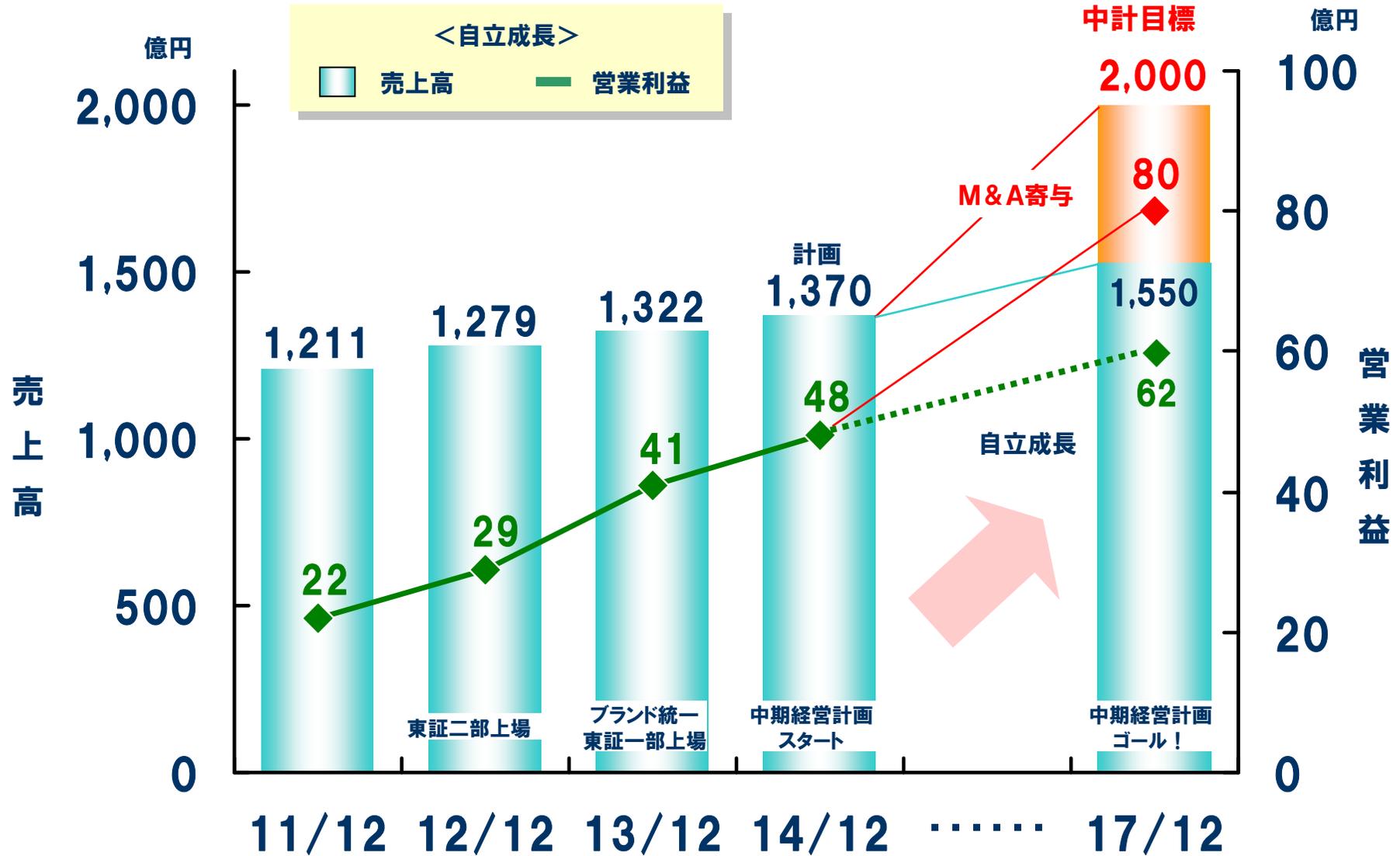


【2014年9月16日付】



9部編成から12部編成へ

S 売上2000億円をめざして





参考：中期経営計画

- 名 称：SBS Growth 2017
- 期 間：2014年から2017年までの4年間
- めざす姿
創立30周年に向けて、
“全方位の物流機能を有する3PL企業集団”を結成し、
業界トップグループ入りを果たす

■ 数値目標

売 上 高	2000億円
営 業 利 益	80億円
営業利益率	4%以上
自己資本比率	30%以上

- 成長ドライバーは、3PL、アジア、施設開発、そして、M&A

参考：中期業績目標

■ 自立成長 + M & A で目標達成をめざす

(単位：億円)

	自立成長 2014 ⇒⇒⇒ 2017			M & A		中計目標 2017/12
売上高	1,370	1,550		450		2,000
物流	1,250	1,370		450		1,820
不動産	53	90	+	0	=	90
その他	67	90		0		90
営業利益	48	62		18		80
営業利益率	3.5%	4.0%		4.0%		4.0%

M & A内訳 海外190 + 国内260(うち3PL150) = 450